



2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年5月13日

上場会社名 中国工業株式会社 上場取引所 東
コード番号 5974 URL <https://www.ckk-chugoku.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 野村 實也
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 (氏名) 小田 和守 TEL (0823) 72 - 1322
定時株主総会開催予定日 2025年6月26日 配当支払開始予定日 2025年6月9日
有価証券報告書提出予定日 2025年6月24日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期の連結業績(2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期	13,843	3.8	415	101.5	497	76.2	376	82.5
2024年3月期	13,332	△0.4	206	△10.6	282	△9.1	206	3.5

(注) 包括利益 2025年3月期 378百万円(△42.0%) 2024年3月期 652百万円(140.5%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2025年3月期	115.83	—	7.2	3.9	3.0
2024年3月期	63.46	—	4.1	2.1	1.5

(参考) 持分法投資損益 2025年3月期 一百万円 2024年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	12,449	5,866	43.2	1,657.12
2024年3月期	13,362	5,553	38.0	1,563.31

(参考) 自己資本 2025年3月期 5,383百万円 2024年3月期 5,078百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2025年3月期	1,017	△205	△833	277
2024年3月期	289	△192	△66	299

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2024年3月期	—	—	—	18.00	18.00	57	28.4	1.2
2025年3月期	—	—	—	20.00	20.00	63	17.3	1.2
2026年3月期(予想)	—	—	—	20.00	20.00		31.1	

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	14,000	1.1	330	△20.5	410	△17.5	220	△41.5	64.33

※ 注記事項

- (1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期	3,420,000株	2024年3月期	3,420,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期	171,173株	2024年3月期	171,095株
③ 期中平均株式数	2025年3月期	3,248,868株	2024年3月期	3,248,905株

(参考) 個別業績の概要

2025年3月期の個別業績(2024年4月1日~2025年3月31日)

(1) 個別経営成績		(%表示は対前期増減率)					
	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円 %
2025年3月期	11,573	5.6	406	136.0	479	104.3	366 97.5
2024年3月期	10,963	△0.4	172	△30.7	234	△24.4	185 △6.0

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期	111.73	—
2024年3月期	56.57	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期	9,952	4,936	49.6	1,506.35
2024年3月期	10,876	4,640	42.7	1,415.93

(参考) 自己資本 2025年3月期 4,936百万円 2024年3月期 4,640百万円

- ※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です
- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2 ページ「経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本的な考え方	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
連結損益計算書	7
連結包括利益計算書	8
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	14
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

（1）当期の経営成績の概況

当連結会計年度のわが国経済は、円安や賃金上昇によるインフレ傾向のもと推移いたしました。

当社グループを取り巻く環境においても、諸資材、電力エネルギー費用、運賃等の上昇基調が続きました。

このような経済情勢のもと、当社グループは引続き受注の拡大に努め、売上については鉄構機器事業及び運送事業は減収となりましたものの、高圧機器事業及び施設機器事業は増収となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は138億43百万円（前期比5億11百万円の増収）となりました。利益面においては、売上高が増加したこと、及び退職給付債務に関する数理計算上の差異発生額（退職給付債務の減少額114百万円）

（以下「数理差異」という。）を営業費用の減額として処理したことにより、営業利益は4億15百万円（同2億8百万円の増益）に、経常利益は4億97百万円（同2億14百万円の増益）に、親会社株主に帰属する当期純利益は3億76百万円（同1億70百万円の増益）となりました。

報告セグメントの種類別の業績は、次のとおりであります。

なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

高圧機器事業…… 主要製品であるLPガス容器の売上及びプラント工事の受注が増加し、売上高は94億21百万円となり、前期を5億62百万円（6.3%）上回りました。また、セグメント利益（営業利益）は、売上高の増加及び数理差異の影響により、前期を1億98百万円（38.3%）上回る7億18百万円となりました。

鉄構機器事業…… 売上高は5億12百万円となり、前期を11百万円（2.2%）下回りました。また、セグメント利益（営業利益）は、固定費の削減及び数理差異の影響により、前期を12百万円（37.0%）上回る44百万円となりました。

施設機器事業…… 売上高は17億22百万円となり、前期を41百万円（2.5%）上回りました。また、セグメント利益（営業利益）は、利益率が少し低下したものの数理差異の影響もあって前期を2百万円（2.0%）上回る1億17百万円となりました。

運送事業…… 貨物取扱量の減少により、売上高は21億87百万円となり、前期を81百万円（3.6%）下回りました。また、セグメント利益（営業利益）は、売上高の減少により前期を6百万円（55.3%）下回る4百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末総資産は、前連結会計年度末(以下「前期」という。)と比較して9億12百万円(6.8%)減少し、124億49万円となりました。主な要因は、売上債権が7億16百万円減少したことによるものであります。

負債は前期と比較して12億26百万円(15.7%)減少し、65億82百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が1億58百万円、短期借入金が6億91百万円、前受金が2億88百万円それぞれ減少したことによるものであります。

また、純資産は前期と比較して3億13百万円(5.6%)増加し、58億66百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が3億18百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の期末残高は、前期に比べ22百万円(7.4%)減少し、2億77百万円となりました。なお、当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況と主な内訳は以下のとおりであります。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、10億17百万円でありました(前期は得られた資金が2億89百万円)。これは、主に前受金は減少したものの、税金等調整前当期純利益の計上、売上債権の減少、棚卸資産の減少によるものであります。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、2億5百万円でありました(前期は使用した資金が1億92百万円)。これは、主に有形固定資産の取得によるものであります。

●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、8億33百万円でありました(前期は使用した資金が66百万円)。これは、主に借入金の返済によるものであります。

〔キャッシュ・フロー関連指標の推移〕

	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期
自己資本比率(%)	36.6	37.4	38.0	43.2
時価ベースの株主資本比率(%)	16.9	17.5	15.2	13.3
債務償還年数(年)	6.1	△27.4	7.7	1.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ	39.1	△9.1	32.1	92.0

(注) 1. 自己資本比率：自己資本/総資産

2. 時価ベースの株主資本比率：株式時価総額/総資産

3. 債務償還年数：有利子負債/営業キャッシュ・フロー

4. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

※各指標は、いずれも連結ベースの財務数値によっております。

※株式時価総額は期末株価終値×自己株式控除後期末発行済株式数によっております。

※有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。営業キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払金額を使用しております。

（４）今後の見通し

当社グループを取り巻く事業環境は、国内におけるインフレ基調のもと、グローバルには米国の関税政策を始めとする不安定要素が多見されるなど、予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような状況のもと、当社グループは受注の拡大や主要諸資材の値上げに対応した販売価格の是正に努めるとともに、運送コスト増加への的確な対応やD X化推進などの経営効率化に努め、安定した利益の確保に努める所存であります。

次期の売上高は、主力製品のLPガス容器・LPガスプラント工事を中心に前期に比べ増加が見込まれます。

利益面におきましては、主要諸資材の仕入価格上昇に対応した製品販売価格の引上げやコストダウンにより、可能な限り増加を図っていく所存であります。

なお、事業の種類別セグメントの売上高及び連結業績の見通しは次のとおりであります。

（単位：百万円；％）

事業の種類別セグメントの名称	売上高	構成比
高压機器事業	9,390	67.1％
鉄構機器事業	550	3.9％
施設機器事業	1,760	12.6％
運送事業	2,300	16.4％
合計	14,000	100.0％

	売上高 百万円	営業利益 百万円	経常利益 百万円	親会社株主に帰属 する当期純利益 百万円
2026年3月期(予想)	14,000	330	410	220
2025年3月期(実績)	13,843	415	497	376
増減率	101.1％	79.5％	82.5％	58.5％

（５）利益配分に関する基本的な考え方

株主の皆様への安定配当を経営の重要な課題と位置づけ、当期の業績と今後の事業展開に必要な内部留保の確保及び今後の業績見通しを勘案しながら適切な配当政策を採ることとしております。この方針に基づき、当期の配当につきましては、当期の利益と今後の見通しを総合的に勘案し、当期末の配当を1株あたり20円（前期比+2円）とさせていただきます。

次期の配当につきましては、安定配当の観点及び今後の事業展開等を勘案して引き続き1株あたり20円とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、海外での事業展開や資金調達を行っておりませんので、当面は日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R S（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢を踏まえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	534	512
受取手形	272	246
電子記録債権	792	725
売掛金	3,519	2,966
契約資産	81	10
製品	337	268
仕掛品	916	799
原材料及び貯蔵品	492	549
その他	104	103
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	7,050	6,181
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,714	2,720
減価償却累計額	△2,163	△2,203
建物及び構築物（純額）	551	517
機械装置及び運搬具	4,695	4,783
減価償却累計額	△4,140	△4,247
機械装置及び運搬具（純額）	554	535
土地	2,503	2,503
リース資産	528	330
減価償却累計額	△402	△195
リース資産（純額）	125	135
建設仮勘定	11	38
その他	656	668
減価償却累計額	△591	△633
その他（純額）	65	35
有形固定資産合計	3,812	3,766
無形固定資産	143	125
投資その他の資産		
投資有価証券	2,218	2,235
繰延税金資産	3	2
退職給付に係る資産	5	6
その他	176	169
貸倒引当金	△48	△39
投資その他の資産合計	2,355	2,375
固定資産合計	6,311	6,267
資産合計	13,362	12,449

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当連結会計年度 (2025年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,243	1,085
電子記録債務	1,367	1,430
短期借入金	1,604	913
リース債務	40	42
未払金	225	215
未払費用	101	103
未払法人税等	105	95
未払消費税等	104	84
前受金	293	5
賞与引当金	143	159
役員賞与引当金	7	7
その他	115	54
流動負債合計	5,354	4,198
固定負債		
長期借入金	509	480
リース債務	85	93
繰延税金負債	345	357
役員退職慰労引当金	22	22
退職給付に係る負債	1,466	1,404
その他	25	25
固定負債合計	2,454	2,383
負債合計	7,809	6,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,710	1,710
資本剰余金	329	329
利益剰余金	2,277	2,596
自己株式	△147	△147
株主資本合計	4,169	4,487
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	909	896
その他の包括利益累計額合計	909	896
非支配株主持分	474	483
純資産合計	5,553	5,866
負債純資産合計	13,362	12,449

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
売上高	13,332	13,843
売上原価	10,732	11,035
売上総利益	2,599	2,807
販売費及び一般管理費	2,393	2,392
営業利益	206	415
営業外収益		
受取配当金	58	66
その他	28	26
営業外収益合計	86	93
営業外費用		
支払利息	9	10
その他	1	0
営業外費用合計	10	10
経常利益	282	497
特別利益		
固定資産売却益	2	4
投資有価証券売却益	98	59
特別利益合計	100	64
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
ゴルフ会員権評価損	-	6
特別損失合計	1	6
税金等調整前当期純利益	382	555
法人税、住民税及び事業税	161	158
法人税等調整額	△7	2
法人税等合計	153	161
当期純利益	229	394
非支配株主に帰属する当期純利益	23	18
親会社株主に帰属する当期純利益	206	376

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
当期純利益	229	394
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	422	△16
その他の包括利益合計	422	△16
包括利益	652	378
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	603	362
非支配株主に係る包括利益	48	15

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,710	329	2,119	△147	4,011
当期変動額					
剰余金の配当			△48		△48
親会社株主に帰属する当期純利益			206		206
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	157	△0	157
当期末残高	1,710	329	2,277	△147	4,169

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	512	512	428	4,952
当期変動額				
剰余金の配当				△48
親会社株主に帰属する当期純利益				206
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	397	397	45	442
当期変動額合計	397	397	45	600
当期末残高	909	909	474	5,553

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,710	329	2,277	△147	4,169
当期変動額					
剰余金の配当			△57		△57
親会社株主に帰属する当期純利益			376		376
自己株式の取得				△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）					
当期変動額合計	-	-	318	△0	318
当期末残高	1,710	329	2,596	△147	4,487

	その他の包括利益累計額		非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	909	909	474	5,553
当期変動額				
剰余金の配当				△57
親会社株主に帰属する当期純利益				376
自己株式の取得				△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△13	△13	9	△4
当期変動額合計	△13	△13	9	313
当期末残高	896	896	483	5,866

（４）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年4月1日 至 2024年3月31日）	当連結会計年度 （自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	382	555
減価償却費	333	348
貸倒引当金の増減額（△は減少）	7	△9
前受金の増減額（△は減少）	238	△288
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	35	△61
賞与引当金の増減額（△は減少）	10	16
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	2	-
受取利息及び受取配当金	△58	△66
支払利息	9	10
有形固定資産除売却損益（△は益）	△1	△4
投資有価証券売却損益（△は益）	△98	△59
売上債権の増減額（△は増加）	△774	716
棚卸資産の増減額（△は増加）	167	129
その他の資産の増減額（△は増加）	△34	8
仕入債務の増減額（△は減少）	103	△95
未払消費税等の増減額（△は減少）	48	△20
その他の負債の増減額（△は減少）	45	△47
小計	417	1,130
利息及び配当金の受取額	58	66
利息の支払額	△9	△11
法人税等の支払額	△178	△168
営業活動によるキャッシュ・フロー	289	1,017
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△36	△36
定期預金の払戻による収入	36	36
有形固定資産の取得による支出	△183	△239
有形固定資産の売却による収入	3	5
無形固定資産の取得による支出	△68	△6
投資有価証券の取得による支出	△66	△35
投資有価証券の売却による収入	123	71
投資活動によるキャッシュ・フロー	△192	△205
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	130	△570
長期借入れによる収入	200	200
長期借入金の返済による支出	△298	△349
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース債務の返済による支出	△46	△49
配当金の支払額	△48	△57
非支配株主への配当金の支払額	△3	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66	△833
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	29	△22
現金及び現金同等物の期首残高	269	299
現金及び現金同等物の期末残高	299	277

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

１．報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会において経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主に製品別及び顧客業態別に「高圧機器事業」「鉄構機器事業」「施設機器事業」「運送事業」の４事業に分類し、当該４事業を報告セグメントとしています。

「高圧機器事業」は、高圧ガス容器（ＬＰガス及びその他の一般高圧ガス）、ＬＰガスバルク貯槽、ＬＰガス設備、ＬＰガス貯槽、その他の高圧ガス貯槽の製造販売、高圧ガス関連設備の設計施工を行っております。

「鉄構機器事業」は、鉄鋼メーカー向けインナーカバー及びその他各種鉄構製品の製造販売を行っております。

「施設機器事業」は、飼料用タンク及びコンテナ、廃水処理装置、畜産機材、薬品タンク、脱臭装置及びその他各種ＦＲＰ（強化プラスチック）製品の製造販売を行っております。

「運送事業」は、一般区域貨物運送業、引越業、倉庫業を行っております。

２．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。報告セグメントの利益は営業利益であります。セグメント間の内部売上高は第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1、2、3	連結財務諸表計 上額 (注)4
	高压機器 事業	鉄構機器 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,859	524	1,680	2,268	13,332	-	13,332
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1	-	-	659	660	△660	-
計	8,860	524	1,680	2,927	13,992	△660	13,332
セグメント利益	519	32	114	11	678	△471	206
セグメント資産	6,710	601	786	2,548	10,647	2,714	13,361
その他の項目							
減価償却費	184	10	8	79	283	50	333
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	114	28	4	52	199	93	293

(注) 1 セグメント利益の調整額△471百万円には、セグメント間取引消去0百万円、各報告セグメントに配分してい
ない全社費用△471百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総
務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント資産の調整額2,714百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

3 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額93百万円は、全社資産の設備投資額であり、減価償却費の
調整額50百万円は全社資産の調整額であります。

4 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1、2、3	連結財務諸表計 上額 (注)4
	高压機器 事業	鉄構機器 事業	施設機器 事業	運送事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,421	512	1,722	2,187	13,843	-	13,843
セグメント間の内部売 上高又は振替高	0	-	-	690	690	△690	-
計	9,422	512	1,722	2,877	14,534	△690	13,843
セグメント利益	718	44	117	4	885	△470	415
セグメント資産	5,998	552	710	2,565	9,827	2,621	12,449
その他の項目							
減価償却費	198	9	10	81	300	48	348
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	177	0	15	71	265	9	274

(注) 1 セグメント利益の調整額△470百万円には、セグメント間取引消去3百万円、各報告セグメントに配分してい
ない全社費用△473百万円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない、経営管理部、総
務部等管理部門に係る費用であります。

2 セグメント資産の調整額2,621百万円は各報告セグメントに配分していない全社資産であります。

3 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額9百万円は、全社資産の設備投資額であり、減価償却費の調
整額48百万円は全社資産の調整額であります。

4 セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

（1株当たり情報）

前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
1株当たり純資産額 1,563.25円	1株当たり純資産額 1,657.12円
1株当たり当期純利益金額 63.46円	1株当たり当期純利益金額 115.83円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

（注） 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)	当連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)
親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	206	376
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	206	376
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,248	3,248

（重要な後発事象）

該当事項はありません。